



ローカルメディア「連携」の現状

市民が主役、
街じゅうがスタジオ。

(株)愛媛CATV代表取締役社長 宮内 隆

ケーブルテレビの進化



テレビサービス

共同受信設備

- ・地上波放送
- ・衛星放送
(BS、CS)



地域情報
チャンネル



通信サービス



インターネットサービス



固定電話サービス



モバイルサービス

地域メディア

ライフライン

ケーブルテレビ＝地域にとって必要不可欠な社会インフラへ

国(内閣官房)がケーブルテレビ業界を
「重要インフラ」として指定(2012年12月～)

ケーブルテレビ業界の現況

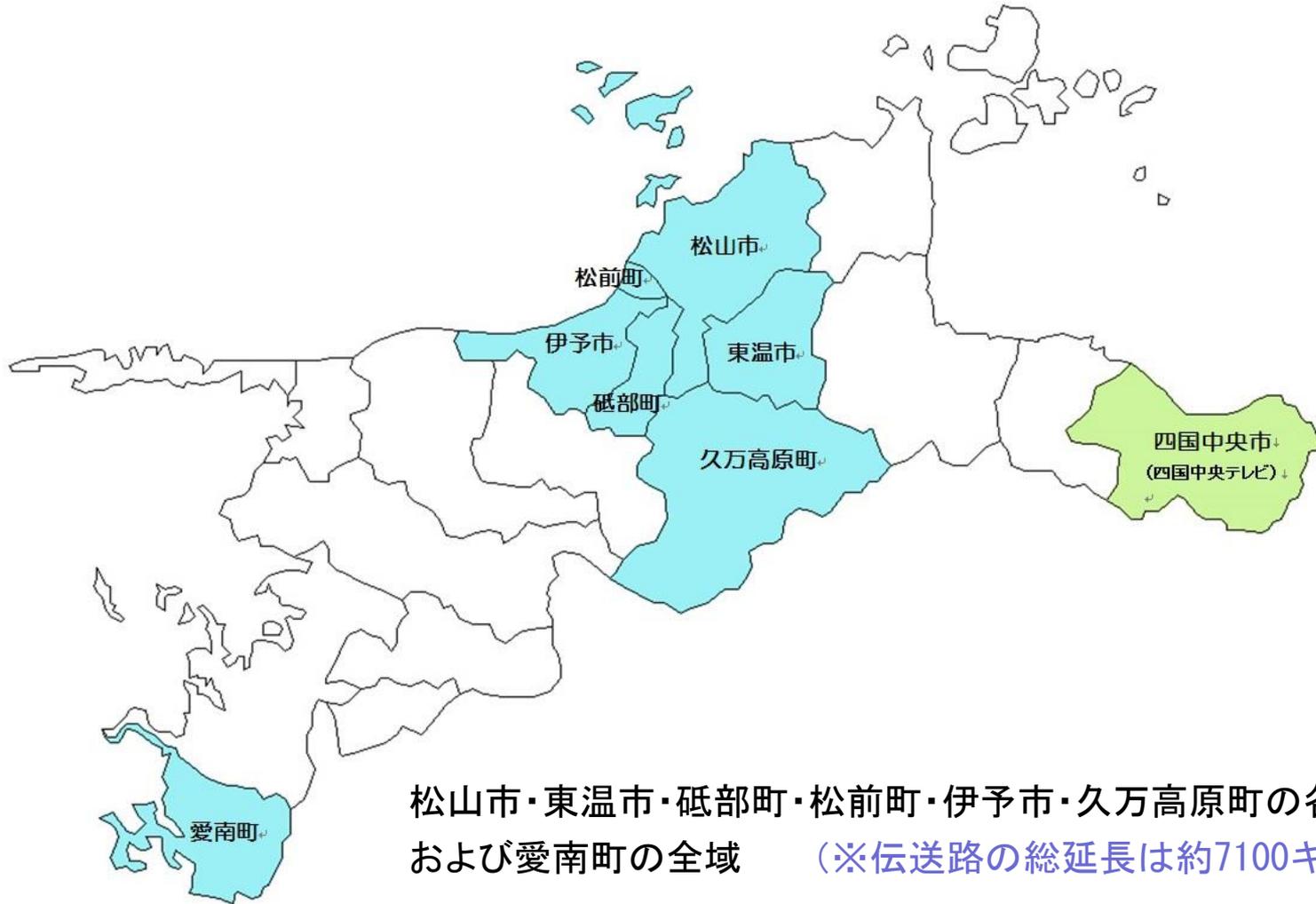
- ・ケーブルテレビ事業者は全国で大小合わせて
→約510事業者（規模、事業環境ともに千差万別）
- ・ケーブルテレビの加入世帯数は、2016年3月末、
2948万世帯（普及率52.3%）に達し、10年前に比べ
約1.5倍に増加
- ・ケーブルテレビの営業収益は、1兆2853億円で、
「1兆円産業」に成長。テレビ事業部門より通信事
業部門の売り上げが上回っている

愛媛CATVの概要

- 設立
 - 1989(平成元)年8月
- 開局
 - 1991年(平成3)年10月
- 資本金
 - 8億500万円
- 営業収益 (2015年度決算)
 - 63億3000万円
- 経常利益 (同)
 - 1億3800万円
- 従業員数
 - 約180人(うち正社員57人)
- 関連会社
 - 四国中央テレビ(四国中央市)、愛媛CATVサービス



サービスエリア



加入数

- ・ ホームパス（加入可能世帯） 269,300世帯
- ・ 総加入世帯数 150,000世帯
- ・ 加入率 55.6%
- ・ テレビ加入接続世帯数 126,400世帯
- ・ インターネット加入利用件数 61,100件
- ・ 固定電話加入利用件数 31,600件
- ・ ケーブルモバイル利用件数 7,500件

（課金ベース、2016年12月現在）

株主構成の特徴

- 地方メディアが主軸
 - 愛媛新聞社+テレビ愛媛+南海放送＝約36%
 - 愛媛CATVから南海放送へ出資、相互で株式持ち合い
- 県を含めた行政、地方有力企業から幅広い支援
 - 都道府県から出資を受けるケーブル局はまれ
 - 金融機関、公共交通機関、地元老舗企業...
- 大手通信事業者からの出資
 - NTT西日本、四国電力
 - 双方から非常勤取締役

(※敬称略)

沿革

1989年	8月	会社設立
1991年	10月	1期エリア開局(市中心地、道後方面)
2000年	9月	インターネットサービス開始
2009年	4月	ケーブルプラス電話(固定電話)サービス開始
2010年	4月	次世代高速無線通信(Wimax)サービス開始
	7月	デジアナ変換サービス開始
2013年	6月	エリアワンセグ放送開始(松山市中央商店街)
	9月	エリアワンセグ放送開始(松山市沿岸部)
2014年	4月	スマートテレビサービス「アクトビラエヒメ」開始
	8月	えひめFree Wi-Fiに参画
	12月	ケーブルモバイル(MVNO・携帯電話)サービス開始
2015年	12月	全国初の「4K地域情報専門チャンネル」放送開始
2016年	9月	イーネットモバイル(地域BWA高度化)サービス開始

愛媛CATVの事業環境

- ・地上波民放局4局、NHK(四国の基幹局)がそろっている
 - 区域外再放送をやっていない(=加入誘引に使えない)
ニュース番組も内容が被る
- ・松山エリアは電波環境がよく、難視聴が少ない
 - 単なるアンテナ替わりにはならない

したがって...

ケーブルテレビならではの差別化が不可欠



コミュニティーチャンネル(自主制作放送の地域情報チャンネル)の充実が、事業展開の基軸に！

愛媛CATVの地域情報の特長

▪「ど・ローカル主義」

- 他のメディアと同じことをしても意味がない→ニッチを狙う
- 徹底的に地域にこだわる
- 全国でもトップクラスの9チャンネルを自主制作・放送
- 生中継139本を含め年間510本もの中継・収録放送
- 地域において、アナログからHD、4K、IPTVに至るまで、テレビのことなら何でもやる
- 地域コンテンツを国内、海外へ発信、展開

▪「市民が主役、街じゅうがスタジオ」

- 市民の、市民による、市民のためのメディア
- 双方向的メディア

地域情報チャンネル

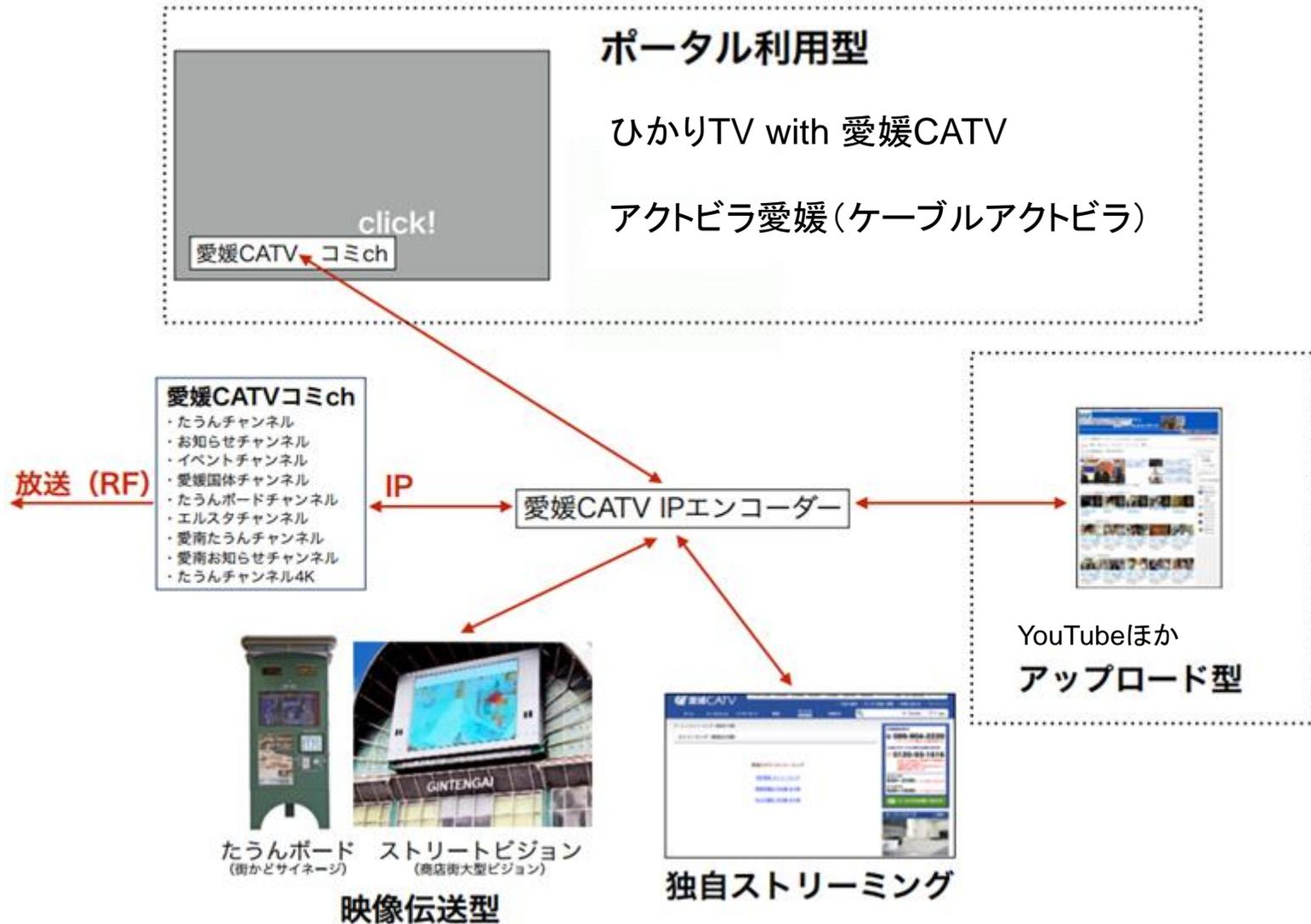
【松山地域】

- たうんチャンネル（ニュースや生活情報を中心に放送）
- イベントチャンネル（イベントを長時間収録や生中継でまるごと放送）
- おしらせチャンネル（天気、文字ニュース、災害対応などマルチ情報画面）
- 「えひめ国体」チャンネル（地域のスポーツイベントや試合などを放送）
- タウンボードチャンネル（街頭情報端末「タウンボード」の観光情報など）
- エルスタチャンネル（商店街情報などエリアワンセグ放送と連携）
- たうんチャンネル4K（全国初の地域情報専門4Kチャンネル）

【愛南地域】

- 愛南たうんチャンネル（愛南町の地域情報を放送）
- 愛南おしらせチャンネル（愛南町の天気、行政情報など）

地域情報のIP配信



愛媛CATVにおける「メディア連携」

＜愛媛CATVの思い...＞

- ・ケーブルテレビならではの有益なコンテンツを地域にお届けしたい
- ・保有する光インフラを有効活用したい

＜メディア連携すると...＞

- ・地方メディア(地上波放送局、新聞、地域情報誌など)と連携することで、単独ではリソース的に難しい番組コンテンツやサービスを生み出すことが可能
→ ex.) 選挙特番、駅伝中継、共同イベント開催...
- ・保有する光インフラを映像伝送や中継回線として地上波放送局に利活用してもらうことで、自社インフラの保守管理コストの軽減につながる

メディア連携事例：番組制作

- ・マラソン、駅伝、選挙特番...



メディア連携事例:「見えるラジオ」

- ・見えるラジオ(南海放送「ウイットチャンネル」)をケーブルテレビで放送



- ・4Kチャンネルへも展開



(※敬称略)

メディア連携事例：サテライトスタジオ

- ・エルスタ(サテライトスタジオ)の運営・活用
(南海放送と愛媛CATVの共同運用)



(※敬称略)

メディア連携事例：地域イベント開催

「メディアまつり」＝南海放送 × 愛媛新聞 × 愛媛CATV

メディアまつり会場には、愛媛県内のマスコットキャラクターも来るよ。

大手町 & 西堀端 **メディアまつり2016**

愛媛のローカルメディアとして、地域に育まれてきた愛媛新聞社、南海放送、愛媛CATVのマスコミ3社が、「えひめへの感謝」と「地元へのありがとう」の思いを込めて開催します。取材や番組制作、イベントなどで結びつきが生まれた人たちとコラボレーションし、3社の本社がある松山市大手町・西堀端で「地元愛」にあふれたイベントをお送りします。ぜひ、ご来場ください。

入場無料

【とき】 **10月9日(日) 10時～15時** 主催／愛媛新聞社・南海放送・愛媛CATV
 【ところ】 愛媛新聞社・南海放送本町会館・愛媛CATV大手町オープンスタジオ

南海放送	愛媛新聞社	愛媛CATV
<p>● 松山市長選挙の特別番組「選挙特番」の制作</p> <p>● 松山市長選挙の特別番組「選挙特番」の制作</p> <p>● 松山市長選挙の特別番組「選挙特番」の制作</p>	<p>● 松山市長選挙の特別番組「選挙特番」の制作</p> <p>● 松山市長選挙の特別番組「選挙特番」の制作</p> <p>● 松山市長選挙の特別番組「選挙特番」の制作</p>	<p>● 松山市長選挙の特別番組「選挙特番」の制作</p> <p>● 松山市長選挙の特別番組「選挙特番」の制作</p> <p>● 松山市長選挙の特別番組「選挙特番」の制作</p>
<p>ステージイベント</p> <p>● 松山市長選挙の特別番組「選挙特番」の制作</p> <p>● 松山市長選挙の特別番組「選挙特番」の制作</p> <p>● 松山市長選挙の特別番組「選挙特番」の制作</p>		

(※敬称略)

メディア連携事例：メディアハブ

メディアハブを中心とするローカル放送コンテンツネットワーク

平成20年度「ICT地域経済活性化事業」(ユビキタス特区)地域情報発信能力向上プロジェクトにより構築

情報カメラ

松山城



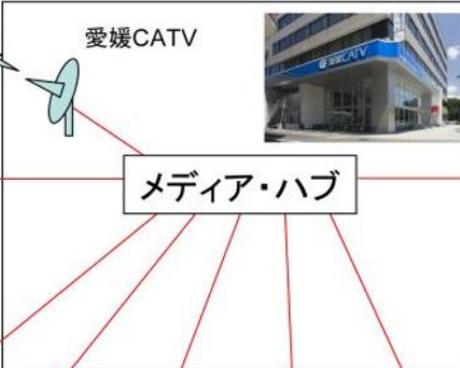
石手川ダム



松山観光港



無線通信



(映像素材の交換・連携)

NHK

RNB

EBC

ITV

EAT

中継ポイント

坊ちゃんスタジアム



エンジニアスタジアム



その他 臨時敷設回線



※他ケーブル局との
メディア・ハブ連携
(県内3局、香
川県内2局)

メディア連携事例：中継回線の提供(冗長化)

行道山中継所

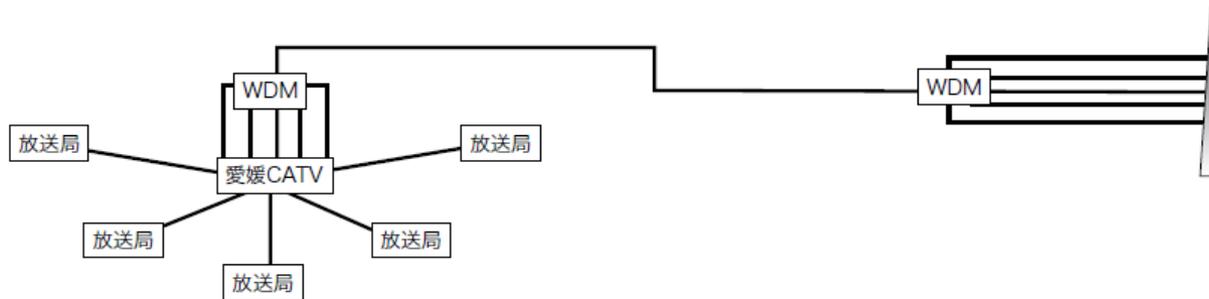
TV NHK、全民放

ラジオ 南海放送

※メディア・ハブによる

※国土強靱化事業により敷設

※FPUとの冗長（マイクロ波回線との冗長）



南海放送用（TV+ラジオ）

（敷設済）大洲、宇和島、久万、新居浜

（今後）今治、八幡浜、新八幡浜

（※敬称略）

「メディア連携」のポイント

- ・最適なサービスを作るため、他のリソースを利用し合う
→いわゆる「良いところ取り」の思想
- ・単なる「八方美人」ではなく、自主性・独自性を確保
- ・ビジネス（必ずしも金銭的やり取りだけでなく、コスト縮減なども含む）
としてお互いに合えば、必ずしも「資本関係が不可欠」
という訳ではない

「メディア連携」は...

愛媛CATVが掲げる「地域貢献」「お客様目線」
の方向性にまさに合致する取り組み



ご清聴ありがとうございました。

愛媛CATV 代表取締役社長 宮内 隆